

広報

どうし

道志村民憲章

私たちの七里は、緑と清流と歴史の郷です。この地に生きること誇りをもち、平和な村を築くため、ここに憲章を定めます。

私たちは

- 一、自然を愛し平和な村をつくりたい。
- 一、生産に励み豊かな村をつくりたい。
- 一、伝統を重んじ、教養を高め文化の村をつくりたい。
- 一、人情といたわりの心を養い、福祉の村をつくりたい。
- 一、明るく健康で、活力ある村をつくりたい。

2001 November 11 月号



高秀横浜市長と佐藤道志村長が記念植樹を行なう



横浜市民による植樹



林間広場に26台のバスで参加する

植樹祭開催

主催 横浜市水道局
協賛 道志村

21世紀の緑のダムづくりにむけて、
苗木10,000本植える

みんなで守ろう水道水源

式典



高秀横浜市長挨拶



佐藤道志村長挨拶



本多水道局長開会宣言

横浜市長
百年近く、道志の水源かん養林に先人達が果して来た役割に敬意を！二十一世紀を迎え、道志の森をさらに豊かにする植樹祭に大勢の市民が行動し参加したことを喜びます。本日の道志村の皆様のご歓迎とご協力が深く感謝し、横浜市民との交流が一層深まることを期待します。

道志村長
市民の皆様、ようこそ道志村へ！横浜市のご協力のもと、水源地の村として、生活排水処理事業を進め自然環境の保全に努めていきたい。将来にわたり、道志川の清流を守り、おいしい水を市民に送り続けていくことを約束します。



植樹アドバイザー
宮脇横浜国大名誉教授
(樹種の紹介と植樹方法について説明)



オープニングにおいて東富士七里太鼓の歓迎演奏



雨の中出席された来賓
左から道志村議会議員、山梨県富士北麓東部地域振興局、横浜市議会議員

道志・森未来

10月8日、横浜市民1,200人が
バス26台で来村

開催テーマ みんなでつくろう水源林

植樹樹種は

ミズナラ・ケヤキ・コナラ
ブナ・ヤマザクラ・ヤマモミジ
クヌギなどを植える



雨の中水源かんよう林内において
横浜市民が苗木を植える

植樹



歓迎と交流



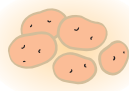
トン汁サービス
(婦人会、役場)



林間広場で市民が休憩



物産展が広場で行なわれ、特産品を買う横浜市民で賑わう



(横浜市民へのお土産)

どうし産のじゃがいも一人1キロ



警察署、安協による国道から
会場地までの交通整理を行なう



消防署、医師、保健婦により
救急救護に万全を期す



植樹地警戒、救護にむかう消防団員



開会入場行進

第40回 村民体育祭

体育祭にふさわしい天候に恵まれた、十月七日、村民スポーツ広場において第四十回村民体育祭が、保育園児から老人クラブまで住民多数の参加を得て盛大に行われました。

式典では、杉本体育協会長の挨拶につづき佐藤村長の挨拶、高村県議会議員 水越村議会議長 佐藤教育委員長の祝辞がありました。

競技においては、各自治会で選ばれた選手が与えられた種目に親しみながら、やはり地区対抗となると熱がはいり、今年はじめでの競技種目となった綱引などには、声援が送られ熱戦が展開されました。



聖火ランナーの水越政治さん

この体育祭を通じ、村民一人ひとりがスポーツ精神の高揚と健康増進及び体力の向上を実感出来た事でしょう。

またこんなはずではなかったと、体力に限界を感じた方は毎日自分の体力と時間に合った運動を心掛けてみてはいかがでしょうか。

この体育祭を通じて村内にいながら仕事で合う機会の少ない方も、この日は久しぶりに再会出来たと喜ぶ人などなごやかな光景が見られました。

昼休みを利用し永年体育関係に功績のあった方々の表彰が行われました。



消防団員、音楽隊による演奏

表彰された方は次のとおりです。

- 功労賞
- 山口時彦（東神地）
- 佐藤一彦（大室指）
- 特別功労賞
- 山口洋介（東神地）
- 成績
- 優勝 善之木チーム
- 準優勝 神地チーム
- 三位 川原畑チーム



はじめての種目綱引き
力をあわせてヨイショヨイショ！



年齢別リレー最終ランナー！
観客席からも声援が送られる。


秋の全国火災予防運動 11月9日～15日

もう一度、
基本にかえって

火の用心！！


冬に向かって日ごと肌寒さが増していくこの季節、
ストーブやこたつなどの暖房器具の出番とともに、暖房器具などによる住宅火災も
多くなり始めます。その出火の原因の半数以上は、火を扱う人の“不注意”です。
火災を防ぎ、秋冬を暖かく過ごすために、「火の用心」の基本を忘れないでください。

火の用心！ココがポイント

 **こんろ** こんろ火災の約8割は
「天ぷら油」によるものです。


こんろのそばを離れるときは
必ず火を消す
こんろの周りに物を置かない
こんろは壁から離して置く
天ぷら油の加熱に注意する
天ぷらを揚げる適温は約180。
360～380になると火種が
なくても発火、燃焼します。



 **たばこ** たばこの火は消したつもりでも
完全に消えていないことがあります。

寝たばこは絶対にしない
灰皿にたばこを置いたま
まにしない
灰皿にはいつも水を入れ
ておく
吸い殻は完全に消えたの
を確認してから、ためず
に捨てる



 **ストーブ** ストーブ火災は秋冬に集中しています。
安全な取り扱いを心がけましょう。

シーズンの初めには点検整備を行う
ストーブの上に洗濯物を干さない
ストーブをカーテンや家具に近づ
けない

ストーブの周りにスプレー缶
などを置かない
石油ストーブは完全に火が消
えてから給油する

灯油以外のものを給油しない
外出時、就寝時はストーブを
必ず消す

